

2015年5月21日

つなぐ・つなげる・つながる 地域で子育て！
“こうベイクメンの日 2015”開催

「育児にかかわるすべての男性＝こうベイクメン」を合言葉に、2010年より有志によるプロジェクト“こうベイクメン大賞”が始動しました。「こうベイクメン大賞」として3年、「こうベイクメンの日」として2年、父の日に啓蒙イベントを継続開催し、のべ400件超の男性による子育てエピソードと、通算3,000人以上の一般市民の参加者を数え、イクメンの普及を行なって来ました。また、本プロジェクトは、地域コミュニティでの子育ての大切さについて訴えてきました。神戸市でも、コミュニティ活動が重要視され活発化する一方で、その活動の担い手の中心は高齢化が進み、新たな担い手への継承が喫緊の課題です。こうベイクメンの日では、イベントを通じて、参加者のみなさんが地域とのつながりを意識するきっかけづくりを目指します。

行事名称：こうベイクメンの日 2015 “つなぐ・つなげる・つながる”

目的：地域で子育てに関わる全ての男性を『こうベイクメン』と定義する。

実施される催事を通じて、地域や家族とのつながりを子育ての観点から男性のみならず、広く市民に体験し考えていただける機会とする。

実施日時：2015年6月21日（日） 10：00～16：30(予定)

実施場所：ハーバーランド umie サウスモール1F中央ほか

実施内容：

1. 市民救命士講習（10:00～13:00／事前申込制※ 定員30名／参加無料）
昨年引き続き”命をつなぐ”市民救命士の講習を行います。助けあう精神を学び、家庭や地域での子育てにおける交流のきっかけづくりを行います。講習の間、お子さんはショーケースのプログラムを体験できます。受講者には修了証が発行されます。当日人工呼吸用のマウスピース(500円)を購入が必要です。
※ウェブサイト内の申込みフォームまたは氏名、住所、年齢、電話番号を記入の上 FAXにてこうベイクメン実行委員会事務局 078-332-4705 まで 5/25 より受付開始
2. 消防車の展示による防火広報（10:00～12:00）※やむを得ず中止することがあります
3. こうベイクメンの日ショーケーススタンプラリー（11:00～16:30 参加無料）
参加者同士の交流を目的に、子育て支援団体や企業の協力で、けん玉などの昔あそび、こうベイクメンへの感謝のメッセージ募集、知育アプリの体験など参加型ワークショップを実施。エピソードの展示も行います。
4. こうベイクメンジャー（11:00～16:30 参加無料）
参加者にもスタッフに混じって子どもたちの指導をしてもらい、積極的に子どもに関わるきっかけづくりを行う
5. クマガイタツロウ(ワタナベフラワー)ライブ（予定）

主催：こうベイクメン実行委員会

共催：神戸市

協力：「5日で5000枚の約束」プロジェクト実行委員会、神戸ハーバーランドumie
中央消防署、中央消防団、デザイン・クリエイティブセンター神戸、kiiro project、
神戸ストラット実行委員会、神戸ソクランプロジェクト、株式会社前田畳
製作所、株式会社ワオ・コーポレーション、株式会社アルファミクス、株式会
社ウッディーズ、株式会社シンエンタープライズ、株式会社チャイルドハート、
パールリレーション、株式会社毛利マークほか

参加費：無料



育児にかかわる
すべての男性
||
こうベイクメン

こうベイクメンロゴ ©ハナムラチカヒロ

こうベイクメンとは

【育児にかかわるすべての男性＝こうベイクメン】

お父さんだけに限らず、おじいちゃん、近所の八百屋さんなど、あらゆる男性を指します。
子育ては、地域社会で行うものという考えです。

【子育ては みんなそれぞれ ちがって いい！】

100点を目指すあまり、子育てに劣等感を感じてしまう方が多いそうです。

子育てに100点満点はありません。家庭環境は人それぞれ、なにより子どもたちはひとりひとり違うのです。違いを認めて、多くの価値観を共有できる子育てを目指しませんか？

【こうベイクメンがあたり前の社会へ】

じぶんごととして、子育てに取り組むことで、
家庭や地域とかかわり、お互いの価値観を見せ合い、認め合える社会
それが、『こうベイクメンがあたり前の社会』です。

2015年5月21日

【問い合わせ先】

こうべイクメン実行委員会 事務局（株式会社毛利マーク内）

実行委員長 藤井 淳史

〒650-0021 神戸市中央区三宮町2丁目10-21 毛利ビル3F

電話 078-331-0874 / FAX 078-332-4705

E-Mail a-fujii@mouri-mark.com 公式サイト <http://www.kobeikumen.com/>

昨年のような（参加者 のべ1,000名）



市民救命士講習：ショッピングセンター内で行われる珍しい講習となりました



昔あそび（お手玉）：世代を超えた交流のきっかけづくりとなりました

2015年5月21日



畳を配置し、ゆったりした雰囲気を演出しました



ワタナベフラワーライブ：ボーカルのクマガイタツロウ氏自身も一児の父であり、幼少期は家庭の事情で地域の方に育てられたという経験から、こうベイクメンの想いに共感し、2012年より当プロジェクトに協力していただいています